

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	1年	後期	横山 靖		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	2	21	
科目概要							
柔道整復の臨床理論の知識を身に付ける。 肘関節・前腕部の骨折、脱臼、軟部組織損傷について理解し、発生機序、特徴、症状、治療法等を説明できるようにする。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	肘頭骨折、肘関節脱臼、肘内障、上腕骨内側上顆炎(野球肘)、上腕骨外側上顆炎(テニス肘) 橈骨骨幹部骨折、モンテギア骨折、コーレス骨折など肘部から前腕部の外傷を学ぶ授業である。各損傷における発生機序、分類、症状、治療法等について理解し、説明できるようにする。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)						
1. 肘頭骨折の筋と靭帯の関係を選択できる 2. 肘関節脱臼、肘内障の発生機序機序を選択できる 3. 野球肘の分類と発生機序が選択できる 4. 外側上顆炎の疼痛誘発テストが選択できる 5. 橈骨骨幹部骨折の筋と靭帯の関係を選択できる 6. モンテギア骨折の特徴、靭帯、注意点を選択できる 7. コーレス骨折の靭帯と変形が選択できる。							
履修に必要な予備知識や技能							
医学用語の基礎知識 運動器の解剖							
教科書・参考書							
柔道整復学理論編・実技解剖学							
受講上の注意							
"私語は慎むこと スマートフォン等の電源を切るか、マナーモードにしておくこと 復習が大切です。"							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
	中間試験50% 期末試験50%						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	前腕部の解剖と機能 前腕骨近位部の骨折			p.427 pp203-206	筆記用具		
第2回	肘頭骨折			pp206-208	筆記用具		
第3回	前腕部の解剖と機能 橈骨骨幹部骨折			p.429 pp208-210	筆記用具		
第4回	ガレアジ骨折 尺骨骨幹部骨折			pp210-212	筆記用具		
第5回	モンテギア骨折 橈尺両骨骨幹部骨折			pp212-217	筆記用具		
第6回	手関節部の解剖と機能 橈骨遠位端部骨折			p.430 pp217-219	筆記用具		
第7回	コーレス骨折			pp220-221 p.428	筆記用具		
第8回	スミス骨折			pp221-222	筆記用具		
第9回	バートン骨折 ショウファー骨折 橈骨遠位骨端線離開			pp222-224	筆記用具		
第10回	ショウファー骨折 橈骨遠位骨端線離開			pp223-224	筆記用具		
第11回	試験				筆記用具		
第12回	肘関節の解剖と機能 肘関節の脱臼			p.426 pp310-312	筆記用具		
第13回	肘関節の脱臼			pp312-314	筆記用具		
第14回	肘内障			pp314-315	筆記用具		
第15回	肘関節部の軟部組織損傷			pp361-362	筆記用具		
第16回	肘関節部の軟部組織損傷			pp363-365	筆記用具		
第17回	前腕部の軟部組織損傷			pp365-366	筆記用具		
第18回	前腕部の軟部組織 末梢神経損傷			pp366-368	筆記用具		
第19回	前腕部の軟部組織 末梢神経損傷			pp368-369	筆記用具		
第20回	試験				筆記用具		
第21回	解答解説				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院、スポーツ整形外科勤務後接骨院を開業。臨床経験に基づいた講義をする							
メールアドレス							
yokoyama@nihonisen.ac.jp							